

ROUND-TABLE TALK

How is parenting?



日野市子ども家庭支援センターが運営する子育てひろばを利用するお父さんに、子育ての現状や子どものいる暮らし、家庭での役割やパートナーとのコミュニケーション、子育ての悩みや喜びについて聞きました。子どもの誕生は「地域での子育て」の始まりでもあります。子育てひろばからも、地域の父たちの輪が広がっていきますように。



あらいさん

元陸上部の営業担当。仕事の都合で1年前に福岡から日野に引っ越してきた。年末年始は10か月になった子どもを連れ、大阪まで車で帰省予定。



はるパパさん

1歳9か月の子どもを育てる。妻の勧めで座談会に参加。休みの日は家族3人で散歩しながら地域のお店めぐりを楽しんでいる。



きたみさん

サッカーとフットサルが趣味の小学校教員。現在夫婦で育休中。子どもが歩き回れるようになり、家族で公園に遊びに行くのが日課になっている。

地域子ども家庭支援センター多摩平「はびはび」パパ座談会 | 開催 2021年12月5日 | 参加者 0歳から1歳のお子さんのいる父親

※1 コカセン：子ども家庭支援センターの略称。 ※2 にここ：地域子ども家庭支援センター万願寺「にここ」。 ※3 はびはび：地域子ども家庭支援センター多摩平「はびはび」。



トムさん

鹿児島出身。よく動くようになった9か月の長男の子育て中。市内のおいしいお店を探して休日に家族でランチに行くのが子育て中のリフレッシュ方法。



アサカワさん

仕事は医療関係。日野市出身の妻と4歳の長男、1歳4か月の次男と暮らしている。趣味はトレイルランニング。日野は川沿いや丘陵地など、走るのが楽しい。

子どもとおでかけ

きたみ 夫婦ともに育休中で時間があるので、3人で毎日公園に行っています。どっちもいるので、自分だけで子どもを連れてというのは、まだほとんどないですね。近所の公園も行きませんが昭和記念公園や小金井公園など少し足を延ばすと、大人にとっても気分転換になります。

あらい うちも公園はよく行きます。ドライブがてら相模湖の方まで行ったり。

——みなさん、お出かけの準備はどんなかんじでしていますか？

あらい うちはおムツや離乳食など子どもの準備を僕がして、その間に妻が家のことを片付けるんですけど、「もっとうこうしてほしい」とかいう苦言はたまに出ますね。家事の方がルールがあるのが妻が担当になるので、僕が気を遣ってやろうとするとそのルールから外れたことをしちやって逆に怒られたり…（苦笑）。

アサカワ わかります。僕は子どもの荷物を準備万端にしようとして、自分の荷物を忘れたことがあります。完璧にいかないことが多いですよ。

トム うちも妻のルールがいろいろあるんですけど、知らない間につくられているルールとかもあって、「それ知らなかったよ」みたいなことも起こります。

あらい 知らないルール、あるんですよ。

一同 笑。

——子どもと2人だけでお出かけすることもありますか？

アサカワ 僕は子どもたちと3人で「コカセン」（※1）や児童館に行ったりします。